

串間市議会

3月議会 6月議会 9月議会 12月議会

2018年11月

No.22

だより

Kushima City Council No.22 2018.11

URL <http://www.city.kushima.lg.jp/main/council/index.html>

「議会だよりは串間市のホームページからご覧になれます」

TEL 0987-72-0691 FAX 0987-72-0932

Pick UP!

都井岬再開発、串間温泉いこいの里どうなる!!



北方小学校秋季大運動会

P 2 : 9月定例会
P 3 : 常任委員会・特別委員会報告
P 7 : 一般質問



9月定例会

平成30年第4回串間市議会(9月定例会)会期並びに審議日程

会期：平成30年9月3日(月)から平成30年9月26日(水)まで24日間

審議日程

月日	曜	種別	内 容
9月3日	月	本会議	○会議録署名議員の指名 ○会期の決定 ○報告第5号及び報告第6号、認定第1号から認定第12号、議案第52号から議案第64号、諮問第1号 (上程、提案理由説明)
9月4日	火	休会	議案熟読 *一般質問通告締切 午後1時30分 発言順位抽選 午後2時~
9月5日	水	休会	議案熟読
9月6日	木	休会	議案熟読
9月7日	金	休会	議案熟読
9月8日	土	休会	
9月9日	日	休会	
9月10日	月	本会議	○市政総体に対する一般質問
9月11日	火	本会議	○市政総体に対する一般質問
9月12日	水	本会議	○市政総体に対する一般質問*議案質疑通告書締切 午後5時
9月13日	木	本会議	○市政総体に対する一般質問
9月14日	金	本会議	○日程追加 串間温泉いこいの里の無償譲渡の緊急質問について
9月15日	土	休会	
9月16日	日	休会	
9月17日	月	休会	敬老の日
9月18日	火	本会議	○認定第1号から認定第12号 (質疑、決算審査特別委員会設置、同付託) ○報告第5号及び報告第6号、議案第52号から議案第64号、諮問第1号 [質疑(報告第5号及び報告第6号終了)、委員会付託(議案第63号及び議案第64号、諮問第1号省略)] ○請願・陳情 (上程、委員会付託)
9月19日	水	委員会	付託案件の審査
9月20日	木	委員会	付託案件の審査
9月21日	金	委員会	付託案件の審査
9月22日	土	休会	
9月23日	日	休会	
9月24日	月	休会	
9月25日	火	委員会	付託案件の審査
9月26日	水	委員会	付託案件の審査
		本会議 午後1時	○議案第52号から議案第62号 (委員長報告、委員長報告に対する質疑、討論、採決) 請願・陳情 (委員長報告、委員長報告に対する質疑、討論、採決) ○議案第63号及び議案第64号、諮問第1号 (討論、採決) ○日程追加 議員提出議案第9号 (上程、提案理由説明、質疑、委員会付託省略、討論、採決)

常任委員会 特別委員会

活動レポート

常任委員会は、議案の審査だけでなく、市民生活に深く関わることについて調査研究を行っています。最近の活動内容をご紹介します。

Activity Report

総務常任委員会

委員長 門田 国光

付託を受けていた議案3件に対し審査を行いました。

◎議案第52号平成30年度串間市一般会計補正予算(第3号)

海外プロモーション事業における、串間市特産品の販路拡大等を図るための調査活動、及び県立福島高等学校の存続を目的とした、生徒の海外研修に係る調査研究を行うため、議員の費用弁償等を予算計上しているが、その目的・趣旨・スケジュール等明確に計画立案し予算計上すべきである。また他の存続策も考慮すべきであるとの強い意見がありました。

特に議員が同行調査研究を行う理由について、当局の説明が不十分であり、市民の理解は得られないと考える。議会費において計上されている旅費、131万円は、議案第52号串間市一般会計補正予算(第3号)に対する修正案として、予備費に修正することで総務常任委員会において、全会一致で決しました。(その後の本会議に上程され賛成

多数で可決成立しました。)修正部分を除くその他は、全会一致で原案のとおり可決しました。

◎議案第55号平成30年度串間市病院事業会計補正予算(第1号)

経営健全化に伴うコンサルタント委託料506万3千円を予算計上したもので、全会一致で可決しましたが、次のような意見がありました。

市民病院の経営改善を図る目的で、専門のコンサルタントに指導を受けるとのことであるが、経営改善がなされるかどうかは、病院の取組次第であるとの意見や、コンサルタントについては、実績があるとのことなので、目に見える効果・結果を出してもらいたい。特に串間市独自の奨学金制度を創設し、長期的な視野に立って医師確保に努めるべきである等々の意見がありました。

文教厚生常任委員会

委員長 木代 誠一郎

議案7件を審査しました結

果、委員会において可決されました。また、継続審査となっていた陳情第6号は不採択、陳情第7号は採択となりました。その主なものをご報告致します。

◎議案第52号平成30年度串間市一般会計補正予算(第3号)

医師確保の要望調査活動を含む旅費が計上されているが、補正予算で随時対応するのではなく計画を精査し、議会と意思疎通を図りつつ計画的な医師確保活動を行うべきとの意見。

来年度福島高校生徒が台湾を訪問し、地元高校生と国際交流を行うための調査旅費であるが、国際感覚を養い福島高校の魅力を高める目的は理解できる。しかし、事業形成のあり方について「福島高校を育てる市民の会」の意見も取り入れた上で内容を十分に精査し、当初予算にて計上すべきであるとの意見。

旧吉松家住宅維持管理において、次年度以降に改修等基本計画を策定し、その後整備を行うため文化庁にてヒアリングを受けること。旧吉松家住宅の改修整備に関しては、旧吉松家周辺の整備計画と併せて進めるべきであった

との意見。

◎陳情第6号介護保険での「生活援助利用の上限設定」の中止・撤回を求める意見書を国に提出することに関する陳情書

生活援助はその利用者において必要不可欠であり、サービスの受給制限は受忍できないものである。しかし今回のケアプラン届け出義務に関しては、必ずしも受給を制限するものではなく、プランを市でチェックすることでケアプランの構築改善を図る一面があることから、不採択とした。

◎陳情第7号後期高齢者の医療費窓口負担について、原則1割負担の継続を求める意見書を国に提出することを求める陳情書

後期高齢者医療制度は、高齢者の増加や医療費の増加が今後見込まれており、高齢者負担のあり方も考える必要があるが、窓口負担の増加は生活に直接影響する大きな問題であり、高齢者の生活を守るためにも国に意見を届けることが重要であることから、願意を了として採択とした。

産業建設常任委員会

委員長 福添 忠義

9月議会において、産業建設常任委員会に付託を受けました議案3件について、審査いたしました結果を報告します。

はじめに、議案第52号平成30年度串間市一般会計補正予算について、分割付託を受けました関係部分（106,296千円）については、全会一致で原案のとおり可決することに決しましたが、次のような意見がありました。

まず、農林水産業費において、都井基幹集落センター管理運営費（162千円）が計上されているが、鉄筋コンクリート構造の建物であり、現在の雨漏り箇所だけの改修ではなく、屋根全体の改修を行うことが今後を見据えて経費の削減となるとの意見がありました。

同じく、施設園芸高生産技術推進事業（2,868千円）が計上されているが、施設園芸振興を図るうえから、希望する施設園芸農家全戸に導入支援をすべきとの意見がありました。

同じく、畜産業費（63,115千円）が計上されているが別段意義なく全会一致で可決

することに決しました。

同じく、施設管理事業（35千円）が計上されているが、これは駐車場借地費であり、将来のコストを考慮するなら購入も含めて多様な方向で検討すべきであるとの意見がありました。

同じく、猟政事業（267千円）が計上されているが、狩猟免許取得について行政はさらに積極的に取り組むべきとの意見がありました。

同じく、林地台帳整備事業（6,268千円）が計上されているが、専門担当職員を配置して積極的に推進していくべきとの意見がありました。

次に、土木費において、道路新設改良費として、過疎地域活性化事業2件が計上されているが、うち1件の上町城山線においては、道路敷用地取得に伴い農地の残地が出る可能性があることから、できるだけ現道を拡幅するよう努めるべきとの意見がありました。

次に、災害復旧費において、土木災害復旧事業費（設計委託12,000千円）が計上されているが、近年は災害も多く発生していることから、当初において前年度実績で見込み計上できないのか、また、大納橋の復旧については、「年度内の完成

をお願いしたい。」との地元自治会からの強い要望もあることから1日も早く工事を完了させるべきとの意見がありました。

次に、議案第56号平成30年度串間市水道事業会計補正予算（市木舩地区災害復旧設計委託15,300千円）、

議案第62号平成29年度串間市水道事業の剰余金の処分（28,914,489円を自己資本金に組み入れ）についてにつきましては、別段意義なく原案のとおり可決することに決しました。

以上で、産業建設常任委員会の報告を終わります。





H30.7.13 総務常任委員会
東九州自動車道要望活動（財務省）



H30.7.12 総務常任委員会
移住・長期滞在事業（北海道釧路市）

◎総務常任
委員会

（定員5名）

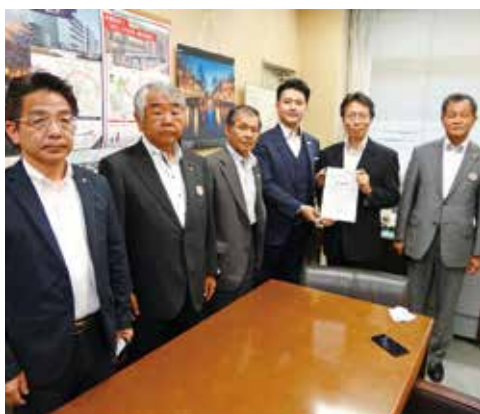
委員長 門田 国光

副委員長 黒水 憲一郎

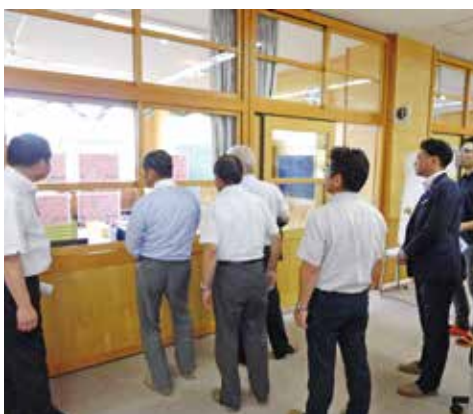
委員 井手 明人

委員 岩下 幸良

委員 山口 直嗣



H30.7.12 文教厚生常任委員会
東九州自動車道要望活動（国土交通省）



H30.7.11 文教厚生常任委員会
テラス石森（福島県田村市）

◎文教厚生常任
委員会

（定員5名）

委員長 木代 誠一郎

副委員長 中村 利春

委員 坂中 喜博

委員 児玉 征威

委員 今江 猛



H30.8.23 産業建設常任委員会
市有温泉施設の民間譲渡（秋田県横手市）



H30.8.22 産業建設常任委員会
道の駅「おおゆ」（秋田県鹿角市）

◎産業建設常任
委員会

（定員5名）

委員長 福添 忠義

副委員長 内藤 圭亮

委員 菊永 宏親

委員 川崎 千穂

委員 瀬尾 俊郎



H30.7.30 議会運営委員会 京丹後市議会（京都府京丹後市）

◎議会運営 委員会

（定員6名）

委員長	井手	明人
副委員長	中村	利春
委員	内藤	圭亮
委員	菊永	宏親
委員	岩下	幸良
委員	児玉	征威

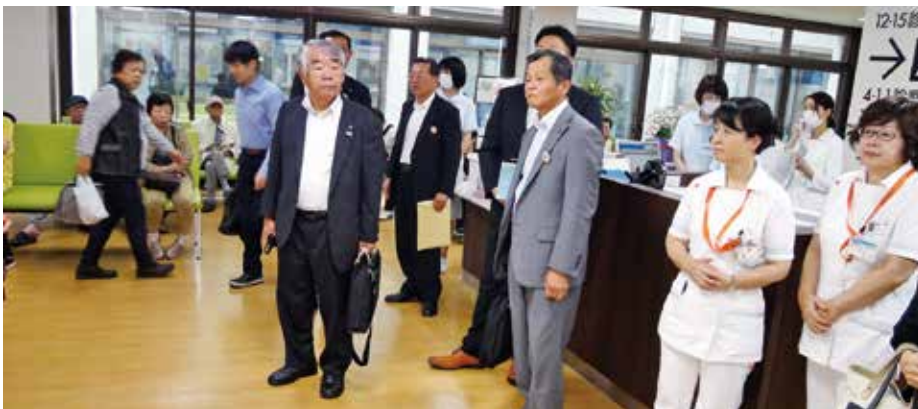


H30.10.1 国体誘致調査特別委員会 敦賀市総合運動公園（福井県敦賀市）

◎国体誘致 調査特別委員会

（定員4名）

委員長	瀬尾	俊郎
副委員長	井手	明人
委員	木代	誠一郎
委員	門田	国光



H30.10.4 病院改革基盤整備調査特別委員会 富山県富山市民病院（富山県富山市）

◎病院改革基盤整備 調査特別委員会

（定員5名）

委員長	坂中	喜博
副委員長	内藤	圭亮
委員	今江	猛
委員	岩下	幸良
委員	黒水	憲一郎



H30.7.2 特別支援学校設置調査特別委員会 鳥取県立皆生養護学校（鳥取県米子市）

◎特別支援学校設置 調査特別委員会

（定員5名）

委員長	中村	利春
副委員長	川崎	千穂
委員	菊永	宏親
委員	福添	忠義
委員	児玉	征威

一般質問



市議会議員が市に対して皆さんの生活にかかわる内容を質問します。

市長や行政委員会に市政の状況や将来の方針、住民生活に密接に係わる事項について質問をすることで、今串間市ではどんなことが行われているか知ることができます。



どうなる？ 都井岬再開発・ 串間温泉・病院



こだま まさたけ
児玉 征威 議員

米良電機の立地協定解除は協定違反！

Q 市は、都井岬再開発のため旧都井岬観光ホテルを4133万円で買収、8970万円でホテルを解体撤去、立地協定を誠実に実行してきました。米良電機の行為は協定違反です！

A 内容を協議し対応を決めたい。

串間温泉無償譲渡計画が「破たん」！

Q 無償譲渡に1社が応募。選定にならなかった場合はどうなりますか？

A ※11日に1社が申請を辞退、14日、児玉議員の緊急質問に、2案（ゆったり館の再開等）を含め再検討したい。

障がい者雇用、市も「水増し」市長が謝罪

Q 国が3460人の障がい者水増し雇用、県も「16人が手帳なし」であることが明らかになりました。串間市の雇用状況はどうなっていますか？

A 「本市の雇用率は3.54%」と10日、児玉議員に答弁。翌日「解釈を誤っている」と訂正し謝罪しました。

た、正しくは2.18%（基準は2.5%）」と訂正し謝罪しました。

猛暑、前倒しでクーラー設置を

Q 気象庁もクーラー使用を呼びかける猛暑です。教室や体育館へのクーラー設置を前倒しで実施すべきです。

A 今年度、有明小7、大東小7、市木小4教室に整備した。前倒しで残りの全教室を整備したい。

原発ゼロ、廃棄物拒否条例

Q 原発ゼロ法案が国会に提出されました。串間市や大隅地域が「核燃料廃棄物の適地」として発表され、大隅・錦江・東串良・肝付町では核ごみ拒否条例を制定している。

A 「核のない、平和な世の中を願う」「核ごみ拒否条例は検討したい」

市民病院、赤字は13億円

Q 医師あつての病院です。

A 6億5千万（金利0.2%）の長期借入をしている。医師確保は厳しい状況。

漁業振興について



かどた くにみつ
門田 国光 議員

Q 本市には2つの漁協があるが、それぞれの水揚げ高と年齢構成は。

Q 磯焼けが問題となり、かなりの年月が経過しました。毛久保青壮年部はいち早く藻場育成に取組、東京で研究発表を行い農林水産大臣賞に輝いた実績もあります。現在串間における藻場の状況をどう把握されているのか、また農林振興局と共同で調査する考えはないか。

Q 大型定置、小型定置網の現状をどう捉えているのか。

Q 養殖業の現状と将来の見通しは。

Q 本市の漁業振興策はどうか捉えているのか。

Q 平成29年4月に策定した水産基本計画に基づき「数量管理等による資源管理の充実や、漁業の成長産業化等を強力に進めるために必要な施策」等について検討が開始され、同年12月に改訂した「農林水産業・地域の活力創造プラン」に位置付けた「水産政策の改革の

方向性」に沿って引き続き検討を進め、本年6月に「水産政策の改革について」をとりまとめられ、水産政策改革ポイントの中で

1 新たな資源管理システムの構成

2 漁業者の所得向上に資する流通構造の改革

3 生産性の向上に資する漁業許可制度の見直し

4 養殖・沿岸漁業の発展に資する海面利用制度の見直し

5 水産政策の方向性に合わせた漁協制度の見直し

6 漁村の活性化と国境監視機能を始めとする多面的機能の発揮

が示されています。現在共同漁業権区域が設定され組合員は行使用料を納付し、県・漁協の許可をもらって操業していますが、この改革の内容では不安になります。どのような所見を持たれているのか。

その他多岐にわたり質問しました。

新年度の市政について



きくなが ひろちか
菊永 宏親 議員

Q 自治会連合会からの議員定数削減等の要望書に対する市長の受けとめは。

A 自治会への支援は今後、鋭意努力していく。要望書の4項目については、十分認識しており、議会で検討していただきたい。

Q くしま創生市民会議の提案について。

A (1) 農業体験等については「移住体験ツアー」の行程として活用する。(2) 福島高校への特別支援学級設置については、生徒数の推移等、多面的、多角的な検討の必要性がある。

Q 本市の資源を総合的に活用する新たな組織の必要性について。

A 本市には太陽光、木質バイオマス、水力、風力、地中熱等、多くの再生可能エネルギーを活かした発電施設が稼働または計画されており、これらの資源を活かした産業観光への取組を行う担当部署が必要であると考えている。

Q ヤマダイ甘藷のGI登録後の販売戦略と産地づく

りについて。

A PRチラシ等やGIマーケの表示、消費地でのイベント等に取り組むとともに、品質向上対策等の産地づくりに取り組む。

Q 東九州自動車道早期事業化に向けた取組について。

A 早期事業化に向けた取組として地元協力体制をアピールするため、推進協議会設立に取り組む。

Q 有害駆除の捕獲班の高齢化対策と支援について。

A 狩猟免許取得促進事業を活用した新規捕獲班員の確保や弾代(たまだい)等の現物助成等については新年度より検討する。

Q 保育料の完全無償化の取組と保育施設の老朽化対策等の取組について。

A 人口増対策として必要な対策であるため、財源確保を含め検討する。施設の改修、新設等については月例施設長会議等で情報を収集し、制度事業を活用した支援に取り組む。

明るい展望を示せ



ふくぞえ ただよし 議員 福添 忠義

既成概念に囚われた振興策では解決はできない。空港の調査・研究は過去にもあった



ないとう けいすけ 議員 内藤 圭亮

◎都井岬の再開発の見直しについて

Q 市民の期待が大きく膨らんだ、米良電機の進出が頓挫した。岬は道路、水、廃墟の撤去等の問題が解決しない限り、企業の進出はない。決断すべき。

A 企業の進出計画は残念。引き続き最善の努力を重ね、賑わいを創り上げるため、努力する。

◎本城温泉「いこいの里」の今後について

Q 譲渡の応募に応じていた企業が辞退したが、今後どうするのか。原点に戻り、白紙の状態が無償譲渡を含め、あらゆる可能性を市長は政治生命をかけて市民の健康増進、地域活性化に取り組むべきだ。

A 温泉を残すことで全力を傾注する。

◎国土保全と森林経営について

Q 治山、治水を含めた国土保全、地球温暖化防止等の多面的機能が、木材生産活動が活発なために木材資源の枯渇と林地崩壊の心配に対し、実態と対策はどうする。

A 実態に対応出来る体制を早急に組み立てる。

◎市内小学校の全教室の冷房化を急げ

Q 災害に近い猛暑に対し、教育環境整備に向けて早急に全小学校の冷房化に一齐に単年度で取り組み。

A 主旨に沿って来年度、全校冷房化に取り組む。

◎市民病院の経営健全化と再整備について

Q 厳しい経営状態にあるが、市民の期待と頼れる病院に向けて全職員が目的と課題を共有することが、まず必要で、患者サービスの向上に努めるべきだが。

A その体制づくりと経営改善に最大限務める。

◎中心市街地にホテルを誘致すべき

Q 流入人口の滞留化のため、中心地に宿泊施設が不足して市外に流失している。早急にホテルの誘致に取り組むべきだ。明るい展望を示す時だ。

A 現在取り組んでいる。早い時期に報告したい。

◎来年度の政策や物流施設として福島港の利活用を

Q 伺い、未来を見据えた空港建設の調査・研究を国と県としていさながら、地域振興、医療態勢、耕作放棄地等に寄与できる考察の必要性、進まない計画がある中、元号が変わる、この節目に計画の再度見直しを行い、遅れを取り返すリーダーシップと我々、市民に対し串間の将来図を描いて欲しいとお願いしました。

A 斬新なアイデアや発想を取り入れ、新たな取組や既存事業の見直しをしながら、くしま創生会議等を通して広く市民から意見を聞き事業化を目指していきます。

した。

A 高松については日陰となる小屋を検討していたが、植栽等も検討していく。

桂原については河川として管理下が違うため協議、検討していく。

その他、都井岬の今後と、米良電機との協定解除についてお伺いをし、地域間のイベントの密な調整をし、よりよい集客と魅力の発信をお願いしました。

◎高松キャンプ公園への熱中症対策、キャンプ場の

Q 需要と印象となる樹木の植栽は調査・設計に含まれているのか。桂原も同様をお願いをしま



危機感から チャンスを生み出せ。



きしる せいいちろう 議員
木代 誠一郎

Q 今回の都井岬企業立地協定の解除は痛恨の極みだ。市長として、今回の件について市民の皆様や地元自治会への説明責任を果たす義務があると考えるが。

A 今回の米良電機さんから再開の方針を関係者等に説明する必要がある。まずは申し出の対応を決定することが先決であり、庁内会議で慎重に協議していく。

Q 西日本豪雨で甚大な浸水被害が出た倉敷市真備町（ハザードマップ）とほぼ重なり、その有用性が改めて実証された。本市でも以前配布されたが、すでにお持ちでない方も多い。啓発の意味を込め、もう一度再配布すべき。

A 市のHPに掲載しているが、洪水ハザードマップは作成から10年経過した。県も新たに浸水想定区域の調査を実施しており、調査結果を踏まえ再配布について検討していく。

Q 児童虐待が全国で深刻な問題だ。虐待防止のための本市の取組はどう考えているのか。

A 生後4か月までの赤ちゃんのいる家庭に訪問し、子育て情報の提供や乳幼児全戸訪問事業、子育て支援センター、発達相談室など保護者へ育児に関する助言・指導等の支援を行っている。また、毎月2回子育て連絡会議を行い、養育等に支援が必要な家庭について関係機関と情報共有し、今後の支援を検討している。

Q 子ども議会は今年度は難しくとも、来年度のある程度早い段階で例えば地域創生学の一環として取り組むべきと考ええる。中学生が一番望ましい。見解は。

A 中学生を対象に子ども議会実現に努めていく。地域創生学の要素を取り入れ、子ども議会にて市長等に提言していく形を想定している。

日本ジオパーク認定へ 向けての取組を



いであきと 議員
井手 明人

Q ジオパーク 串間市は「日南海岸ジオパーク（仮称）」として日本ジオパーク認定に向けて前向きに取り組んでいくことを明言してほしい。

A 科学的・文化的に貴重な問題等の教育活動を行うとともに、観光資源として活用していくものと認識しており、県や宮崎市、日南市とも連携して積極的に取り組んでまいります。

○猛毒除草剤（245T剤）

Q ベトナム戦争で使われた枯れ葉剤成分を含む猛毒除草剤（245T剤）が串間市内に埋設されていることは承知しているか。

A 埋設箇所も特定しており、安全な状態での埋設であると確認している。

Q 昨今の異常気象で埋設箇所の土砂崩壊も想定されるので早めに森林管理署に対して撤去するよう要望すべきではないか。

A 早急に、庁内で対応方針を協議する。

○都井岬再開発

Q 米良電機産業（株）から都井岬再開発の企業立地に関する協定書解除の申し入れがあった

たが、当社は協定締結以来2年半何ら具体的な取組を行わず串間市に多大な損害を与えた。市は直ちに協定を解除し損害賠償請求を検討すべきではないか。

A 協定解除に至った要因を精査することと今後の糧とする。と同時に対応策を協議する。

Q 当初の計画になかったトイレ休憩施設を市が新たに計画したのは先方が観光施設建設の意思がないことを承知していたからではないか。

A 話し合いの中で決まったトイレ休憩施設の建設であり、他の観光施設は建設するものと認識していた。

Q 先ずはトイレのみの建設に留めて、他の施設は今後の再開計画が明確になってから建設すべきで、それよりも課題となっている水確保の問題を優先すべき。

A 協定解除の件を解決した後検討する。

Q 廃墟となったホテルの撤去は全く前進していない。ふるさと納税の基金活用など出来る方法を模索し実行していくべき。それが今後の都井岬再開発にも好影響を及ぼすことになる。

A いくつかのクリアすべき問題があり難航しているが明確な方針を決めこれからは前向きに取り組んでいく。

串間市の課題

市長の政治姿勢

Q 都井岬再興、創生会議の活用策、くろしお支援学校の分校設置の取組。

A 都井岬再開発は米良電機産業の撤退により厳しいが、交渉は継続し今後も進めていきたい。

創生会議は多数の提言がなされている。来年度予算に反映していきたい。

Q くろしお支援学校の分校設置は、本市障がい児童・生徒の事を考えると今後も議会と一体となり県への要望をしていきたい。

Q 各課の主な委託事業の現状は。

A ふるさと納税の委託は8月からオレンジゲートへ。今日までその成果は寄付額に表れている。

都井岬再開発、市の施設設計業務委託は、協力企業の撤退公表後も変わりはない。

高松漁村広場のオートキャンプ場設計業務委託は、地区との協議が得られてから実施したい。

市政活性化アドバイザー事業は、様々な分野にまたがりその成果は見えにくいですが、その効果は着実に表れている。



なかむら としはる 中村 利春 議員

Q 市民病院の健全化は。

A 医師確保を最優先に考え、単年度赤字化と来院患者等の増、病床利用率のアップを図っていきたい。

Q 婚活イベントの今後の計画は。

A 本年はJ.R日南線を利用した婚活イベントを実施し、新しい魅力をつくりたい。

Q 福島高等学校の存続に向けた取組は。育てる市民の会は、串間中学生、PTA等にアンケート調査を行い、動向の分析をするべき。

A 福島高等学校の存続は、本市の重要課題であり、あらゆる方策を取りたい。

農政について

Q 農地中間管理機構を活用した土地改良は。

A 現在、県単事業で塩屋原地区を進めている。今後検討したい。

Q GAP（農業生産工程管理）の取組は。

A 本市農産物の県の認証である、ひなたGAPの取得に向け取り組んでいきたい。

都井岬の歌を聴こう！



くるみず けんいちろう 黒水 憲一郎 議員

1. 市長の政治姿勢について
所信表明の三本柱の現況
2. 教育について
生徒の不利益の解消は我々の責任

3. 要望書について
4. 東九州自動車道について
5. 都井岬について
6. 告発状
7. 裁判について
8. 高松漁村広場について

他に、簡易宿所、空家等対策、J.R日南線とバスについて質問しました。

都井岬を歌った曲が多数有ることからその活用をお願いしました。

1 都井岬 あかつきひろみ
2 都井岬 藤村まゆみ
3 都井岬 小林旭
4 都井岬慕情 ピカリン
5 都井岬慕情 杉浦裕美
6 都井岬慕情 高月浩
7 都井岬慕情 上月晃
8 哀愁の都井岬 井上清春
9 都井岬旅情 舟木一夫
10 男の都井岬 宮口裕湖
11 ああ都井岬 海野あやの
12 都井岬恋歌 朝日奈瞳
13 都井岬ハッピーポップーズ 河野典子 美代子
14 都井岬ホースソング トミー&ケン

スマホのYouTubeから検索して聴くことができます。



市長の政治姿勢について



かわさき ちほ 川崎 千穂 議員

◎観光行政

Q 都井岬再開発で米良電機産業が観光施設を立地する計画解除について、今後串間市の核とするための展望と決意を訊ねた。

A まずは立地協定解除の対応を行い、本市の地方創生の「核」となる協議を進めていく。

◎ふるさと納税

Q 現在返礼品に地場産品を送っているが、高齢者の見守りなど串間市に必要なサービスの提供を取り入れ、寄付者のニーズに答えるべきでは。

A 導入の方向で取り組んでいく。

◎市民病院

Q 来年度から分娩ができなくなるが妊婦さんへの不安解消は。

A 妊婦さん1人ひとりに今後の対応について丁寧に説明を行い、来年度以降の産婦人科の診療と妊婦健診は継続し、入院お産については近隣の医療機関と連携していく。

◎教育行政

Q 小中学校のエアコン設置を早急に。

A 今年度、有明・大東・市木小学校に整備を行った。残り7校についても整備を進める。

また、普通教室に整備した後特別教室の整備を検討していく。

Q 小中学校の生徒のランドセルが非常に重い上荷物が多すぎて危険、健康が危惧されるので改善してほしい。

A 串間市で統一した指針を作成し早期に対応していく。

Q 福島高校への入学者の現状と、「全国枠」についての所見。

A 現在串間中から58名で46.6%、他校から4名の計62名が希望している。「全国枠」については、3つの要件があり県内身元引受人の対応が十分でない。

Q 文科省が示した地域人材養成について。

A 「串間の大人はみな教材」をスローガンに産官学による地方創生学の学びのフィールドを検討している。文科省の事業に手を挙げていきたい。

学校冷房について



いまえ たけし 今江 猛 議員

Q 本市の学校空調整備の方針について伺いたい。

A 今年度、有明小学校7教室、大東小学校7教室、市木小学校4教室の3校全ての普通教室に空調設備を整備いたしました。また、30年度整備した小学校以外につきましては、各補助事業の活用を要望しながら、年次的に整備を検討する計画でありました。しかしながら、近年の猛暑につきましましては、

ことから、国の補助事業等の動向に注視し、補助事業を可能な限り活用して、全小学校の普通教室において整備が完了するように関係課と協議しながら、積極的に取り組んで参りたいと考えております。

Q 県内の産後ケア事業の取組状況と当市の取組について。

A 産後ケア事業につきましては、退院直後の母子に

対して心身のケアや育児のサポート等を行い、産後も安心して子育てができるよう支援するのが目的であります。県内9市の取組状況につきましては、5市が事業として取り組んでいると伺っております。当市におきましては、出産後心身の状態が気になる母子に対して、産院等から情報提供を受け保健師が訪問し相談、指導等をしておりませんが、制度事業としては行っていないところであります。産後ケアは、産後うつや虐待予防にもつながる事業でもありますので、現在、産婦健診と合わせ、事業について検討しているところであります。

その他の質問について

(1) 本城小学校に通学する児童の安全対策について。

(2) 平成30年度本城地区自治会の要望の進捗状況について等の質問を行った。



請願＝市議会議員の紹介が必要です。議長が受理し、各常任委員会に付託され審査されます。
 議会最終日に各常任委員長が審査結果を報告し、採択・不採択を決定します。
 陳情＝市議会議員の紹介は不要です。取り扱いについては、請願と同じです。

請願陳情審査報告書

平成30年第4回申間市議会（9月定例会）

種別番号	受理年月日	件名	付託委員会	審査結果
陳情第6号	平成30年5月28日	介護保険での「生活援助利用の上限設定」の中止・撤回を求める意見書を国に提出することに関する陳情書	文教厚生	不採択
陳情第7号	平成30年8月30日	後期高齢者の医療費窓口負担について、原則1割負担の継続を求める意見書を国に提出することを求める陳情書	文教厚生	採 択

議員提出議案第9号 後期高齢者の医療費窓口負担について、原則1割負担の継続を求める意見書

上記の議案を別紙のとおり、会議規則第14条の規定により提出いたします。
 平成30年9月26日

申間市議会議長 山口直嗣様

提出者 申間市議会議員 木代誠一郎
 賛成者 申間市議会議員 坂中喜博

〃 〃 〃 〃 今江征威
 〃 〃 〃 〃 今江猛

「提出先」

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣

後期高齢者の医療費窓口負担について、原則1割負担の継続を求める意見書

後期高齢者医療（75歳以上）の医療費窓口負担を現行1割から2割にする論議が、経済財政諮問会議（内閣府）や財政制度審議会（財務省）ですすめられ、社会保障制度審議会（厚労省）でも議論がすすめられている。

こうした負担増の検討の進行に対して、全国後期高齢者医療広域連合協議会は6月6日に「後期高齢者医療制度に関する要望書」を政府に提出し、「制度の根幹である高齢者が必要な医療を確保するという観点から現状維持に努めること」を要望している。また、老人クラブや医療関係団体からも、負担増の引き上げを懸念する意見が出されている。

厚労省の後期高齢者医療制度被保険者実態調査（2017年度調査分）によると、宮崎県の後期高齢者の82.5%が所得100万円未満と厳しい生活状況にある。後期高齢者の窓口負担の原則2割化は、年金収入も減るなか、治療が長期にわたる高齢者の生活を圧迫し、必要な受診を抑制するなど、高齢者の命を脅かすことも予測される。

よって、国に対して、後期高齢者の医療費窓口負担について、原則1割負担の継続を求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

平成30年9月26日

宮崎県申間市議会

9月議会・討論

児玉 征威

議案52号、一般会計補正予算案、議員の海外視察費は中止せよ!

議員の任期は後6か月、市長の要請で、タイに3名、台湾に2名の議員を派遣するため131万円の補正予算が提案されています。

タイには、今年2月「海外戦略プロモーション事業374万円」で、市長や4月、県に帰った総合政策課長などが参加、今年度、決算審査前にこの事業に追加で3名の議員を派遣することとは、2元代表制のもと議会の「監視機能を壊す行為」です。

台湾へ福島高校生を海外研修に派遣する職員2名分の調査費37万円が計上されています。これは「福島高校を存続させるプロジェクト」となっていますが、「福島高校を育てる会」では議論もされていません。「交流予定の高校も決まっています」「このような調査に議員が参加することは、「議会が持っている市政運営に対する評価、立法、監視機能のための議会の調査権」を壊すことになります。

来年4月から産婦人科・外科医が不在になります。「医師確保

保活動費」の補正予算はわずか7万1千円です。海外視察は中止して、医師確保のための財源に廻すべきです。

総務常任委員会が議員の海外視察費131万円を予備費にする修正案を提出しましたが、全会一致で採択すべきです。

今回、旧吉松家住宅改修等基本計画策定について文化庁のヒアリングを受けるための旅費6万5千円が計上されています。旧吉松家は、雨漏り、耐震工事をしなければ地震などで崩壊する危険があります。約4億円で広場など吉松家周辺整備がすすめられています。これまでに旧吉松家に使った改修費は6159万円。運営費は毎年1千万円の赤字です。文化庁の調査で「雨漏り、耐震工事」に約1億5千万円の改修費が必要です。改修工事はH34年以降になります。抜本的な見直しを求めます。

議案62号、H29年度水道事業の余剰金について反対討論をします。

29年度水道会計決算では、単年度6636万5千円の黒字決算になっています。その結果、累積黒字は1億8657万8千

円。このうち2891万4千円を自己資本金に繰入れする議案です。水道会計は4億4315万円の現金・預金があります。串間市の水道料金は県内9市で一番高い水道料金です。水道料金の引き下げを求めます。

水道会計の公債利子は年間3242万円です。マイナス金利の時代、現在は0.1%前後の利子です。しかし、水道会計の公債利子、高いのは5.5%、4.4%です。0.1%に借り換えができれば支払う金利は半分以下になります。

H27年度の有水率の目標は90.45%ですが、29年度は82.21%、目標より8.24%低くなっています。有水率が目標に達していれば、水道料金に換算すると2812万円の利益になります。

企業会計であれば、低い金利への借り換えを国は認めるべきです。高い金利を水道料金で賄うのは本末転倒です。地震での老朽管の破損が心配されています。耐震対策・漏水対策は緊急の課題です。

陳情第6号「介護保険での生活援助利用の上限設定の中止・撤回を国に求める意見書提出」と

陳情第7号「後期高齢者の医療費窓口負担の原則1割の継続を国に求める意見書提出」について賛成討論を行います。

この4月から介護保険料は9720円、16.36%、後期高齢者の保険料も1509円、3.15%引き上げになりました。更なる値上げが予定されています。福祉のためと導入された消費税、来年10月には10%に値上げされます。憲法25条は、「国民は、健康で文化的な生活と国は福祉の増進に努めなければならない」となっています。北朝鮮も対話による非核化に変化、情勢は激変しています。北朝鮮ミサイル攻撃対策としてイージス・アショア2基分2352億円など軍需費は5兆2986億円と最大。アベノミクスで企業の内部留保は446兆円です。「陳情書を採択して地方から税金の使い方を福祉優先に切り替えよ」の声を上げるときです。陳情書の採択を求めます。



平成30年9月 第4回申間市議会定例会 議案等の審議結果及び各議員評決

		議決結果	内藤 圭亮	菊永 宏親	坂中 喜博	木代誠一郎	川崎 千穂	瀬尾 俊郎	井手 明人	中村 利春	岩下 幸良	黒水憲一郎	門田 国光	福添 忠義	児玉 征威	今江 猛	山口 直嗣	
市長提出議案	報告第5号	平成29年度申間市健全化判断比率の報告について	終了	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	報告第6号	平成29年度申間市資金不足比率の報告について	終了	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	認定第1号	平成29年度申間市一般会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	認定第2号	平成29年度申間市国民健康保険特別会計(事業勘定)歳入歳出決算の認定について	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	認定第3号	平成29年度申間市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	認定第4号	平成29年度申間市民病院事業会計決算の認定について	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	認定第5号	平成29年度申間市簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	認定第6号	平成29年度申間市水道事業会計決算の認定について	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	認定第7号	平成29年度申間市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	認定第8号	平成29年度申間市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	認定第9号	平成29年度申間市漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	認定第10号	平成29年度申間市物品特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	認定第11号	平成29年度申間市介護保険特別会計(事業勘定)歳入歳出決算の認定について	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	認定第12号	平成29年度申間市市木診療所特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第52号	平成30年度申間市一般会計補正予算(第3号)	修正可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
	議案第53号	平成30年度申間市国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第54号	平成30年度申間市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第55号	平成30年度申間市民病院事業会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第56号	平成30年度申間市水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第57号	平成30年度申間市介護保険特別会計(事業勘定)補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第58号	平成30年度申間市市木診療所特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第59号	申間市火災予防条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第60号	申間市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第61号	申間市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
議案第62号	平成29年度申間市水道事業の剰余金の処分について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-	
議案第63号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
議案第64号	教育委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて	異議なし	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
請願・陳情	陳情第6号	介護保険での「生活援助利用の上限設定」の中止・撤回を求める意見書を国に提出することに関する陳情書	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	-	
	陳情第7号	後期高齢者の医療費窓口負担について、原則1割負担の継続を求める意見書を国に提出することを求める陳情書	採択	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-
議員提出議案	議案第9号	後期高齢者の医療費窓口負担について、原則1割負担の継続を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-

○賛成 ×反対 △棄権 - 欠席等 - 採決なし
 ※議長(山口直嗣)は採決に加わらないので「-」で表示。可否同数のときは、議長の決するところによる。

平成30年度 議会報告会

平成30年度議会報告会を、**12月8日(土)・9日(日)の2日間、市内6会場**で予定しております。

詳しい内容につきましては、各地区の自治会長を通じて行政連絡文書でご案内いたします。
よろしく願いいたします。

昨年度に実施しました議会報告会の様子です。



H29.10.31 議会報告会 (本城地区)



H29.10.30 議会報告会 (都井地区)

議会傍聴のご案内 申間市議会を見学してみませんか！

申間市議会では、市民の皆様への傍聴をお待ちしております。定例議会は、「3月・6月・9月・12月」に開会しております。

「市民に信頼され、役立つ議会づくり」を基本理念に「申間市議会基本条例」を制定し、市民の声を市政に反映すべく議会運営と行政が一体となって取り組んでおります。

一人でも多くの市民の皆様へ、開かれた議会の理解をいただく上でも、ぜひ、議会へ足を運んでみてください。お待ちしております。

申間市議会の様子については、パソコンやスマートフォンなどの携帯端末にて議会中継の様子がご覧になれるほか、過去の映像についても視聴可能です。

申間市議会

検索



また、上記の通り議会報告会を12月8日(土)・9日(日)に開催いたします。今回は初めて土曜開催という形をとりましたが、毎回試行錯誤が続きますが、少しでもわかりやすくお伝えしたいと思っております。皆様のお誘いのおかげで、近所の方もたくさん参加いただけています。ありがとうございます。来年も「申間市の星」として市民の皆様へ多くの元気を届けていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

今年、日本列島で自然災害が相次ぎました。異常気象が叫ばれる中、申間市においても相次いだ台風等で被害が出ており、被害にあわれた方にも心よりお見舞い申し上げます。他人事ではなく自分事として、今までは防災意識を強く持つていただきたき、日頃の備えに十分心がけたいものです。いさぎよい話題が多い中、プロ野球ソフトバンクホークスの加治屋選手(大東出身)が今シーズン目覚ましい活躍をされました。チームに不可欠な中継ぎとを収めていきます。加治屋投手は来年も更なる飛躍を期待します。すし、「申間市の星」として市民の皆様へ多くの元気を届けていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

今年、日本列島で自然災害が相次ぎました。異常気象が叫ばれる中、申間市においても相次いだ台風等で被害が出ており、被害にあわれた方にも心よりお見舞い申し上げます。他人事ではなく自分事として、今までは防災意識を強く持つていただきたき、日頃の備えに十分心がけたいものです。いさぎよい話題が多い中、プロ野球ソフトバンクホークスの加治屋選手(大東出身)が今シーズン目覚ましい活躍をされました。チームに不可欠な中継ぎとを収めていきます。加治屋投手は来年も更なる飛躍を期待します。すし、「申間市の星」として市民の皆様へ多くの元気を届けていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

編集委員 木代誠一郎